

私の人生の宝物

奈良県 川口 春代



先生からも怖がられ、心の底にはいいようのない寂しさがあります。しかし本気で向き合えば、心が通つて必ず立ち直つてくれました。大変しんどい思いをしましたが、大きな喜びでした。

40年間勤めた定年後、息子を通じて鍵山相談役のことを知りました。どうしてもお会いしたいとの思いが募り、意を決して手紙を書き、2013年3月10日息子と一緒に面談していただきました。相談役は、奈良県警の羽根康英さんをご紹介くださり、二階堂高校で初めてトイレ掃除をしました。

私が体育教師として勤めていた公立中学校は、たいへん荒れていました。やんちゃくれの子どもたちに立ち直つてもらいたいと、我が子は放つたらかしにして、家にも帰らず家庭訪問をくり返しました。

かつて私が少年少女らと本音で心を通わせたように、掃除は人の心を磨き、参加する人の心と心を深いところで通わせてくれました。

ます。おかげさまで、掃除を通じて多くの素晴らしい方々とご縁をいただきました。

私が掃除に魅かれるのは、下座に徹すれば謙虚でいられるからだと思うようになりました。定年後の第2の人生も人に喜ばれるように生きたい、教え子たちともいつまでも仲良くしたい、そのための修養として掃除を続けようと思いました。

子どもや孫と一緒に、東日本震災ボランティアや各地の大会に参加しています。教え子たちとは卒業したあとも長い付き合いが続き、今でも家に遊びに来てくれます。

掃除との出逢いで、私は人生の宝物を戴きました。これからも大切にしていこうと思います。

(63-0066 奈良県桜井市西之宮309-1)

小さな会を続けることが大切

静岡県 榊原 淑友



からの「日本一きれいな施設ですね」の声が私の誇りとなりました。

その後農協合併により、赤字部門のマーケットとガソリンスタンド、葬祭の子会社経営を任せられました。社員と一緒に挨拶とクリンリネスに取り組んだ結果、1年で黒字経営となり、挨拶と掃除の効果を実感しました。

そんな私に、経済連の渡辺秀一さんから「掃除・掃除いうならイエローハットの鍵山相談役に教わってこい」といわれて参加したのが、2001年の愛知県知立市での第1回便教会でした。

相談役は「大きな会より、小さな会を続けることが大切です」とおっしゃいました。

2006年12月、森町の会の

実践研修は、田中義人顧問の会

社でご指導いただきました。

学校に掃除をお願いしても、良い返事がもらえないときでした。が、泉陽中学校は校長先生が「うちの学校でやりましょう」といつてくださいました。その前に、ニューヨーク日本人学校で「日本を美しくする会」の掃除会場を受け入れた平田忍先生でした。

泉陽中は、生徒会が「掃除ボランティアの会」を主催し、「ゴミを拾う人はゴミを捨てない」を合言葉に校風を改善し、学力地域トップを実現したこともありました。残念ながら学校統合により廃校になってしましました。

森町では、小國神社のトイレ掃除と森駅のトイレ掃除を、毎月各1回15年間続けています。

ひとつ拾えればひとつ幸せになる

—鍵山先生から教わったこと—

兵庫県 阪田 一史

20年くらい前、地方の公立中の初任校から異動した2校目のことです。そこは街の大規模校で、学校は荒れしており、私は学級経営に行き詰まっていました。

生徒は教師を信用しておらず、

高学歴で経済的にも豊かな家庭では、勉強は塾でさせればよいという考え方の保護者が多いようでした。

神戸に出張の際に、書店で『ひとつ拾えればひとつ幸せになる』の本に出会いました。これが、すべての始まりでした。本を読んで感激した私は、悩みを手

紙に書いて鍵山先生に出しました。お返事は期待していませんでしたが、まもなくお手紙を添えた書籍が送られてきて、驚きました。

その後、新宮町の木南一志さんからお葉書を頂戴したり、鍵山先生のご講演を拝聴したり、木南様主催の「養心の会播磨」にも参加するようになりました。

さて、勤務校のことです。

大きな楠の落ち葉の多さは有名でした。「よし、この落ち葉掃除をしよう」と思いました。一人で

やっていると、手伝ってくれる生

徒が一人また一人と増えていきました。さらに、校門と体育倉庫の掃除も始めました。鍵山先生から教えていただいた、してもら

う幸せ、できる幸せ、してあげる

幸せの「3つの幸せ」。掃除は、まさに「3つの幸せ」だと思います。

私は、周りを巻き込んで…ができません。一人でする方が合っていると思つていました。しかし、皆さんから声をかけていただき、但馬の掃除の会のクリスマスゴミ拾いに参加するようになりました。掃除を通して、色々な人とのご縁もいただいています。

最近朝夕歩いていますが、それまで気にならなかつたゴミが気になるようになり、今はゴミを拾いながら歩いています。

私は、「ひとつ拾えれば、ひとつ幸せになる」と掃除を通して気づかせてもらいました。多くの人に伝え、広めたいと思います。

すべての学びに通じる掃除

沖縄県 佐和田 健一



憶もあり、嫌悪感を覚えました。遠くから道具でやるのだろうと思つてはいるが、リーダーが「顔を近づけ、手を突っ込んでこうやります」とやつたので、大変驚きました。生徒も恐る恐る手を動かし始めたのを見て、私も観念し、言われる通り手を突っ込み、作業を始めました。

しばらくすると、どうにもならないと思つていた汚れが次第に落ちていくではありませんか。臭いもなくなり、少しづつ元の輝きを取り戻し始めました。いつしか便器に顔を近づけ、一心不乱に便器を磨いていました。時間一杯落とせるところまでやろうと、手を止めませんでした。

終わってあらためてトイレを見

罰でトイレ掃除をやらされた記

り臭いもなくなっています。とても感動し、清々しい気持ちになりました。参加者はみな、達成感のある良い顔をしていました。それ以来掃除に学ぶ会に関わっています。

2012年に宮城通治様が立ち上げた「沖縄南部掃除に学ぶ会」を、2019年引き継ぎました。毎週一回、近くの小・中学校のトイレ清掃をし、その他に年一回、ブロックのリーダー研修と年次大会をおこなっています。

トイレ掃除は、環境をキレイにする、物を大切に扱う、時間を大切にする、無駄をなくすなどを自然に学べ、生活や仕事などすべてに通じるものがあり、SDGsそのものです。今後も掃除の継続と普及に努めます。

(901-2104沖縄県浦添市当山2-5-6)

人生の道しるべ

香川県

杉本

千春



知り、直後の2018年「築地市場さよなら清掃」に参加したのが始まりです。

東京に住み、月2回ほど高松へ帰省の生活で、毎週続けてではあります。が、何度も菅刈公園へ通ううちに、一人の先輩から、鍵山先生のお掃除の仕方や日常生活の心得などを教えていただくのが、とても楽しみでした。

例えば、「工夫しながら掃除をする」「与えられた枠を使い切らない」「終身路を譲るも百歩を枉げず」など、大変役に立つことばかりで、これらの言葉を、仕事や生活の場面で具体的に思い浮かべて、行動の道しるべとしました。

そのときは時間が過ぎて、どなたにも会えませんでした。その後お掃除の会があることを

早くお掃除と出会いたかったというのが実感で、感謝の気持ちでいっぱいです。

私の尊敬する鍵山先生、森信三先生の両師から学ばれた方が多くいらっしゃることは、私にとって大きな喜びです。師から直に学ばれた方々からお話を聞ける楽しみは格別であり。生きた勉強であり、本で読んだことが自分の中で一層深まる気がします。

まもなく会社生活を終えます。が、お掃除の会と実践人読書会で学んだことを両輪として、これからどのように社会に役立てていけるか、今から楽しみでなりません。皆様、どうか今後ともご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。一気に世界が広がりました。

心を磨くトイレ掃除

福岡県 森英一



生も晴れ晴れとした表情になり、その感想を聞くにつけ、「トイレ掃除は究極の心の教育である」という印象を強く持ちました。

その後管理職として4年間勤務した県立東鷹高校では、学校行事として取り組みました。さらには、2006年赴任した県立鞍手高校では掃除道具も揃え、「北九州掃除に学ぶ会」のご指導と協力のもと、「心を磨くトイレ掃除」として毎学期行つてきました。

元公立高校教員の私が初めて掃除に参加したのは、1998年ころの「福岡掃除に学ぶ会」によるトイレ掃除でした。

約2時間中学生と一緒に便器を磨き、終わつたときの達成感と心が浄化されたような感動は、

今もはつきり覚えていてます。中学

学校でトイレ掃除の実践を

行つて いたこともあり、全校約800名の生徒や教職員に大変響くお話をしました。多くの生徒が、鍵山さんの「凡事徹底」や、「人の役に立つことをすると自分も生き生きして幸せになれる」という話が胸に刺さつたと、感動を述べていました。

青年期の多感な時期にトイレ掃除を経験し、鍵山さんのお話を聞けたことは、生徒にとって何ものにも代えがたい貴重な体験だったろうとあります。

鞍手高校での取り組みはその後も長く続いており、大変嬉しいことです。「トイレ掃除」は、時代の変遷にとらわれない不易の心の教育、教育現場において一層広がつてほしいと願っています。

あのことがあって
今の私がある

兵庫県 山本 豊利
やまもと ゆたか



していたガソリンスタンドで温かい部屋に招き入れられ、温かいお茶を出してもらつたという記事です。後に、その人は国民的大歌手藤山一郎さんとわかります。このような人になりたい…。

私は、ご苦労のなか掃除をすることで荒んだ人の心を変えてしまう鍵山相談役を知つて、自分のなりたい姿を明確にイメージしました。

28歳でウツを患つていたときのことです。初めて見たファッションショーで、世界的モデルの輝く笑顔を見た瞬間、ピキーンと感が？　私だけが？　と、とても辛い毎日でした。そんなとき、『モラロジー』『いろいろ』で、鍵山秀三郎様の記事を目にしました。

鍵山様は寒い冬の日、雨宿り

顔の人になる！」と思いました。能動的に取り組むと自信が生まれ、また自分を肯定するいい循環になつてきました。

その5年後家業が破産し、店を息子に渡す夢は消えました。しかしこのことで、今の仕事に巡り合うことになります。

自治会長様が、毎朝掃除をする私を見て、子どもに読み聞かせる「話しこう教室」に推してくださり、さらにイベントの司会もいたくようになり、そのご縁で播磨掃除に学ぶ会の木南一志氏など、多くの皆さまとのご縁ができました。

祖父母らの介護も、体は自然に動きました。今では、あれもこれも辛かった過去のお蔭だと思えらさなきや」という言葉が湧き上るようになりました。

(671-2401兵庫県姫路市安富町安志368-2)

傲慢になりがちな自分に気づく掃除

奈良県

吉本

恵美子



掃除用具に圧倒されました。バケツやスポンジ、ベンチや金槌に脚立まで準備されており、それらがピカピカ輝いていました。

掃除に学ぶ会の皆さまは、真剣に心を込めて、きれいとはいえないトイレにひるむことなく汗を流しておられた姿に、胸を打たれました。さらに皆さまは私たち初心者にも細やかな心遣いをされ、明るく和やかななかにも、規律正しく凜とした空気がありました。

そんな皆さまの傍らで、初参加の私は何もできませんでした。そのとき、「とにかく、この掃除の会に欠かさず参加しよう!」と、直感で心に決めました。

や達成感を感じております。また先輩に、雨の日も雪の日も「例外を作らない」ということも学びました。

私は医療機関で看護師の仕事をしております。看護師は聖職?のイメージがあるのか、人さまから労いのお言葉を頂戴することがよくありますが、その際心のどこかで傲慢になりがちな自分がいます。

しかしそういう弱い自分にハツと気づくことがあるのも、掃除との出会いがあつたからだと思います。鍵山掃除道と出会い、自分の生き方を見つめ直す機会を得たこと、そして素晴らしいお仲間とのご縁に恵まれたことに深く感謝しております。

2016年、同級生に誘われて、寝屋川市の小学校での大阪掃除に学ぶ会の月例会で、初めてトイレ掃除をしました。この体験は、私にとって宝物となりました。

ます、整然と並べられた数々のたびにお掃除の後の清々しさ